

あぐれむ

十五夜

旧暦の8月15日、新暦では9月の中旬(今年は9月8日)を、十五夜・お月見・中秋の名月と呼んでいます。今年は9月9日が満月となっていますが、十五夜＝満月ではなく、数日ずれる場合がほとんどです。

昔は、月の満ち欠けを暦代わりに農事を行いました。十五夜は祭儀の行われる節目の日として大切にされていたようです。

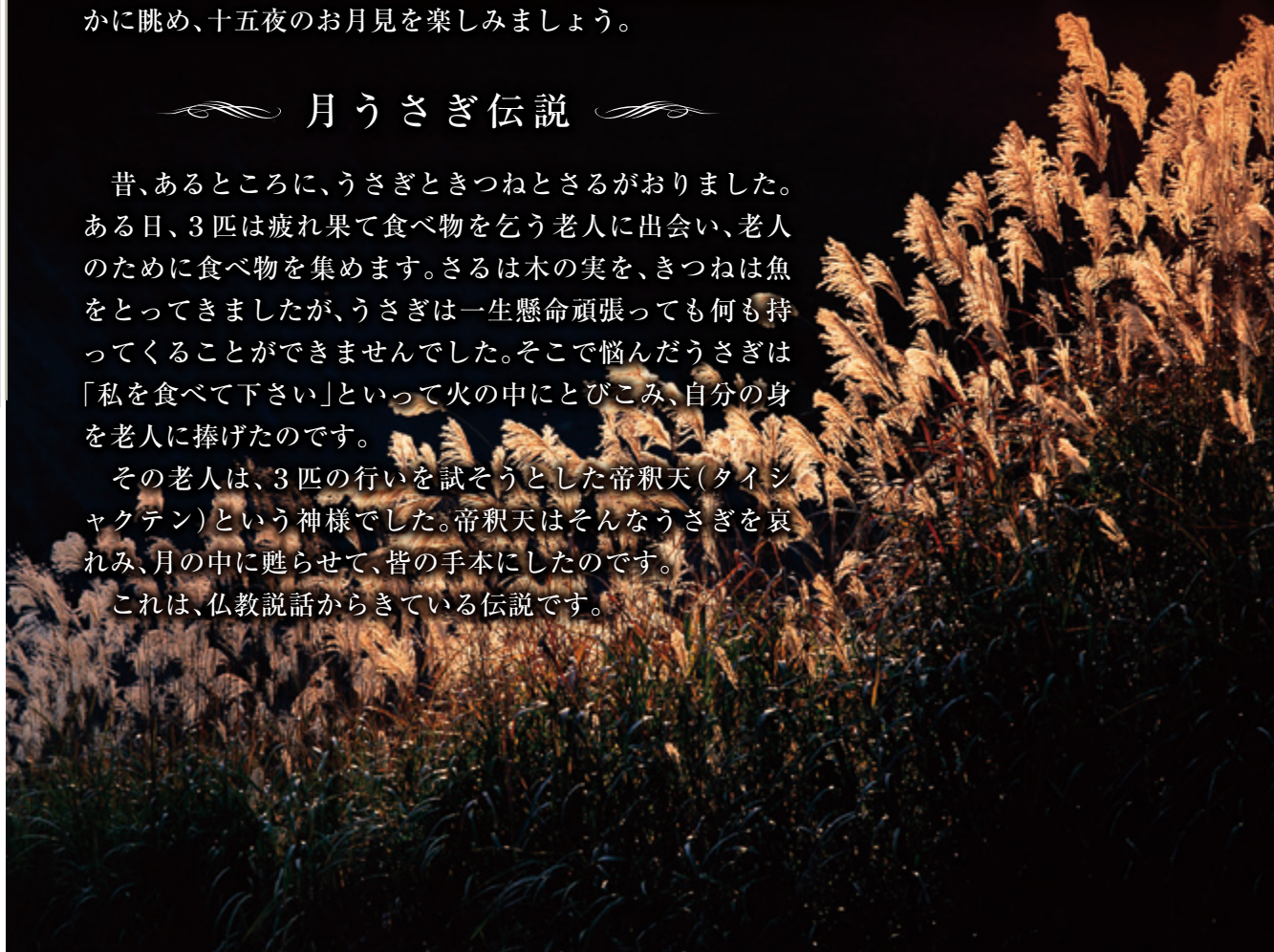
満月に見立てたお団子。形が稲穂に似ていて、魔除けの力があるとされているすすきをお供えし、美しい月を心静かに眺め、十五夜のお月見を楽しみましょう。

月うさぎ伝説

昔、あるところに、うさぎときつねとさるがいました。ある日、3匹は疲れ果て食べ物を乞う老人に出会い、老人のために食べ物を集めます。さるは木の実を、きつねは魚をとってきましたが、うさぎは一生懸命頑張っても何も持ってくることはできませんでした。そこで悩んだうさぎは「私を食べて下さい」といって火の中にとびこみ、自分の身を老人に捧げたのです。

その老人は、3匹の行いを試そうとした帝釈天(タイシヤクテン)という神様でした。帝釈天はそんなうさぎを哀れみ、月の中に甦らせて、皆の手本にしたのです。

これは、仏教説話からきている伝説です。



よこての お寺巡り

第9回

今回は横手市平鹿町醍醐の
香最寺で住職にご協力いただき
お話をお聞きました。



□住職プロフィール

曹洞宗 木翁山 香最寺
氏名 國安 大智(くにやすだいち)

<履歴>

駒澤大学 仏教学部卒
昭和60年 曹洞宗 ニューヨーク禅センターにて
一年間修行
昭和61年 大本山永平寺安居
平成16年 木翁山 香最寺住職(第30世)を拝命
平成17年 秋田県曹洞宗青年会会長に就任
平成18年 曹洞宗特派布教師として全国で布教
活動をされています

大切な家族との別れ……そんな時、心の拠り処は菩提寺です。
菩提寺様のお導きで大切な人を送る……そのお手伝いをさせて
いただく私達アグレムが、横手地区のお寺様にちよつと気になる
事をインタビューして参りました。

——49日の供養の意味を教えてください

最初に皆さんに知っていただきたいのは、現在の日本の仏教は、インドや中国や朝鮮半島、そして2000年以上に及ぶ日本の歴史の伝統、民俗信仰、神道も含め様々な要素が融合してきた、それは私たち日本人のご先祖様方が知恵を振り絞って築きあげてきた、いわば「日本仏教」と言えるものだという事です。宗派によって多少の違いはありますが。

さて49日の供養ですが、亡くなられた方は49日間、自宅のどこかにとどまっているという言い伝えがあります。仏教学的には中有(ちゅうう)中陰(ちゅういん)という世界にとどまるといわれ、いずれにしても49日目にあの世、仏の世界、浄土の世界へ旅立つ(生まれ変わる)という事です。したがってご遺族、ご親族は特にこの49日間に冥福を祈念しながら、供養をしなければならぬというのが語り継がれてきた伝統です。せめて49日間、7日ごとに清らかなお線香、お水等をお供えして供養しましょう。

——納棺の際、どうして故人は白装束に着替えるのでしょうか？

私たち日本人の歴史は、この世に命をいただくと、まず産着から始まり、徐々に大人に成長し、この世とお別れをするまで様々な儀式を経て成長していきます。時代によって異なりますが、人生のターニングポイントには必ず儀式を行ってきました。たとえば七五三、端午、桃の節句、元服(げんぷく)等こういう儀式には必ず白装束で臨んだという記録が残されています。身近なところでは女性が某家に嫁ぐ際、白無垢を着て、白い角隠しをするように、人生のうちに何度でも生まれ変わる、その都度の儀式には白の衣装で臨むという古くからの伝統があるのです。だから納棺の際も当然、死装束は白という原則になるという事です。

——ニューヨーク禅センターでの修行経験について教えてください。

私が修行してからもう30年近く経つ

ているので、今はかなり変わったと思いますが、日本の一般的なお寺というよりは、むしろ修業道場的な生活でした。

朝4時起床坐禅(禅メデイーション)終わって朝のお勤め(モーニングサービスといえます)。般若心経の読経ですが、全て英語バージョンです。朝食が終わって作務(ワークプラクティスといえます)。

基本的にはこの山の修行形態を基に生活しますが、当然全てが英語でした。朝、夜の坐禅はそこに住んでいる人、外から毎日通ってくる人等と共にいます。むしろ日本以上に熱心だったと思います。この禅センターは、檀家さんというより会員(メンバー)制で支えられており、お葬式やご先祖供養というよりは、自分の人生について勉強したい方々が仏教という教えをよりどころとして、住職の説法、法話(ダルマトーク)を聞きに、そして坐禅、修行にという多くの会員の方々に支えられていました。

現在は北米、南米、ヨーロッパ、オーストラリア等世界各国に禅の修業道場は広まっています。

Heart Sutra
(Heart of Great Wisdom Sutra)
(Heart of Great Wisdom Sutra)

Aradhiṣṭvāra Bodhisattva, when deeply practicing prajna paramita, clearly saw that all five aggregates are empty and thus released all suffering. Shariputra, form does not differ from emptiness, emptiness does not differ from form. Form itself is emptiness, emptiness itself form. Sensations, perceptions, formations, and consciousness are also like this. Shariputra, all dharmas are marked by emptiness; they neither arise nor cease, are neither defiled nor pure, neither increase nor decrease. Therefore, given emptiness, there is no form, no sensation, no perception, no formation, no consciousness; no eyes, no ears, no nose, no tongue, no body, no mind; no sight, no sound, no smell, no taste, no touch, no object of mind; no realm of sight... no realm of mind consciousness. There is neither ignorance nor extinction of ignorance... neither old age and death, nor extinction of old age and death; no suffering, no cause, no cessation, no path; no knowledge and no attainment. With nothing to attain, a bodhisattva relies on prajna paramita, and thus the mind is without hindrance. Without hindrance, there is no fear. Far beyond all inverted views, one realizes nirvana. All bodhisattvas of past, present, and future rely on prajna paramita and thereby attain unsurpassed, complete, perfect enlightenment. Therefore, know the prajna paramita as the great miraculous master, the great bright master, the supreme master, the incomparable master, which removes all suffering and is true, not false. Therefore

真宗大谷派公開講座
『仏法伝来』



去る7月5日、真宗大谷派奥羽教区秋田県南組様が主催する、第11回仏教公開講座が虹のホールアグリウムにおいて開催されました。

約60名の参加者を前に、元大谷大学教授 沙加戸弘師をお迎えし、講題「仏法伝来」のご講義をいただきました。

2500年前にお釈迦様が悟りを開き、その教えが仏教とな

り、私たちの生活に普及するまでの過程をお話いただいた、わかりやすい講義となりました。



J A 秋田ふるさと
女性部増田支部
研修会を開催

7月28日、当社一級葬祭デザイナー 高橋和子を講師に「知って得する葬祭マナー」と題しまして研修会を開催いたしました。



会場の虹のホールアグリウム（よこて）には45名の参加者にお集まりいただきました。わかっていようでも、いざ



となると…という葬儀に関わるマナーを幅広く解説する研修会となりました。

今年は2回開催いたします。

(株)ふるさと葬祭アグレム 人形供養祭

参加
無料



長い間かわいがっていた人形、ぬいぐるみなど丁寧に供養いたします。
また、さまざまな企画をご用意して皆様をお待ちしております。

受付 9:00~

供養開始 11:00

虹のホールアグレム
おものがわ



9/27 土

横手市雄物川町沼館字稲荷前62
TEL.0182-56-2630

会場

虹のホールアグレム
おものがわ



虹のホールアグレム



10/5 日

横手市三枚橋一丁目6-10
TEL.0182-36-3930

会場



恒例となりました、人形供養後の抽選会も開催いたします。

今年は**会員様限定の抽選会**とさせていただきます。

同封いたしました抽選券を当日受付までお持ち下さい。

※当日入会も可能です。

葬儀に関する不安や悩みはございませんか？

お葬式・法要の**無料事前相談実施中**

葬儀の事が
何もわからない

葬儀の準備には
何が必要なの？

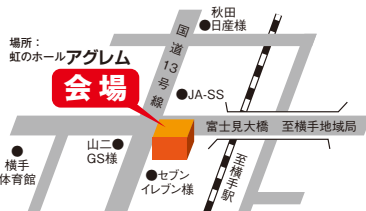
故人の想いを
実現するには？

葬儀の費用って
実際いくら必要なの？

ご家庭の精神的・経済的なご負担を軽減したり、少しでも安心して頂くために、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

訪問相談も承っております。手順はとても簡単です。

- ①まずは52-3930までお電話ください。
- ②「訪問相談希望です」とお伝えください。
※訪問日時を決めます。
- ③お約束の日時にスタッフがお伺いします。



Information

会員の皆様

**年忌にあたって
いませんか？**

ふるさと葬祭アグレムでは葬儀後一周忌にあわせて封書にてご案内をさせていただいております。ご利用割引券など同封しておりますので、お気軽にご連絡ください。

ご意見ご感想

この広報誌についてのご意見ご感想、掲載してほしいことなどございましたら

(株)ふるさと葬祭アグレム<担当・杉田>まで

**パートタイマー
随時募集中**

業務内容 > 新規会員募集
詳しくはふるさと葬祭アグレム
(TEL0182-52-3930)
までお問い合わせ下さい。